

～ 人権・同和教育だより ～

『空に風 人に愛』

島根県立浜田高等学校
定時制・通信制課程

第4号 2021. 7. 21 (水)



< 1学期 人権・同和教育HR活動 >

定時制では、7月2日(金)に人権・同和教育HR活動を実施しました。各学年・部で実施した内容について、簡単に紹介します。

昼間部 1年	「仲間づくり ～あなたのいいところをください!～」 ①「私のいいところ」を10個書き出す ②ペアの相手と①を紹介し合う ③相手のいいところ、自分にもほしいと思うところを3つ選んで書く ④ペアの相手と③を伝え合う
昼間部 2年	「いろいろな性ってなんだろう? ～性の多様性～」 ①アンケートに答え、ワークシートのイラストの性別を考える ②DVDを視聴する ③DVDの内容について確認する ・性のあり方について(4つのものさし) ・いろいろな性別について(LGBTQ ほか) ・差別的な言葉やアウティングなど、気をつけたいことについて ・お互いのちがいを大事にするための工夫について ④学習を通して考えたことや感じたこと、自分にできることを考える ⑤授業前と同じアンケートに答え、自分の意識の変化の有無を確認する
昼間部 3年	「差別や偏見を見抜く力を養う ～噂や迷信について考える～(グループ活動)」 ①血液型による性格診断や相性診断の資料を読み、それを見たり話したり信じたりすることのよい面やよくない面を考え、グループで話し合う ②血液型性格診断や相性占いなどの功罪(よい面と、よくない面)を知る ③六曜について資料を読み、「結婚式は大安の日にした方がいい、仏滅の日はやめた方がいい」という意見についてどう思うか考え、グループで話し合う ④六曜の功罪を知る ⑤日常生活の噂や迷信が、偏見や差別、いじめなどの問題と関係していることに気づく
昼間部 4年	「就職差別について考える」 ①就職面接試験のロールプレイを見て、受験生が正しく評価されていない点を考える ②かつて使用されていた「社用紙」や①のロールプレイの問題点を考える ③現在の履歴書を見て、「社用紙」との違いや変わった理由を考える ④「就職差別につながるおそれのある14事項」を確認する ⑤差別質問を受けた時の対処や受験報告書について知る
夜間部合同	「ハンセン病問題から人権について考える」 ①DVDを視聴する ②ハンセン病患者やその家族がなぜ差別されたのか考える ③ハンセン病元患者に対する差別と新型コロナウイルス感染者への差別の共通点を考える ④差別や偏見を克服するために現在行われている具体的な活動について知る ⑤シトラスリボンを作成し、その意義を知る

各担任の先生が中心となって授業を実施しました。ペアやグループでの活動、DVD視聴、ロールプレイングなど、教科の授業とはまた違った雰囲気だったのではないかなと思います。

授業後に生徒のみなさんが書いてくれた感想から、いくつか紹介します。

(裏へつづく)

昼間部 1年生

- ・自分の良いところを見つける機会があまりないし、ふだん考えることもあまりないので、とても良い機会だったと思いました。また相手の良いところを知ることができたのも良かったです。これからも友だちのよいところをたくさん見つけていきたいです。
- ・自分の長所を再発見できたうえ、みんなの長所を知ることができて良かった。みんなが「ほしい」と言ってくれた自分の長所をこれから伸ばしていきたいと思いました。
- ・相手に自分のことを言う場になったので、お互いのことを知るきっかけができたと思いました。相手に自分の良いところを言うだけでなく、自分から相手の良いところを見つけることも大切だと思いました。
- ・今までは「自分に良いところは少ない」とネガティブな思考でしたが、今回の学習を通して、もっと自分に自信を持ってすごそうと思いました。
- ・中学の時は、ペアワークやグループ活動にあまり意味がないと思っていたけど、ペアワークやグループ活動の大事さや大切さがとてもわかったので良かったです。

昼間部 2年生

- ・前は、「レズビアン」と「ゲイ」しかないと思っていたけど、今日の授業を受けて、いろいろな性があることに気づきました。さらに勉強していこうと思いました。
- ・前は、男女で分けて生活していくのが当たり前と思っていたけど、動画で見た「性別にとらわれない」という意見に対してとても良い考えだと思いました。差別的な言動や行動をしている人がいたら、ただ注意するのではなく、今日見た動画を思い出して性別だけにとらわれないそれぞれの生き方があることを教えてあげたいと思いました。
- ・たくさんの性があることに気づきました。自分の普通と相手の普通はちがうから、人に自分の普通を押しつけないようにしたい。
- ・前は、女の子は女の子らしく、男は男らしくとっていました。この授業の後、女の子らしい、男の子らしいって、何なんだろうと考えるようになりました。

昼間部 3年生

- ・根拠のない情報やうわさは、素直に信じると良い方向にも、悪い方向にも向いてしまうということを改めて感じました。偏見などで差別をしてしまう世の中っていうことを皆がもう一度再確認して、それが少しでも減らせる努力をしなければならぬと思いました。
- ・周りにも「あなた〇〇だから□型でしょう」と決めつけるような言い方をしている人がいました。言われた内容が本当であれば、まあ飲み込めるかなと思いますが、ちがっていた場合、言われた側の人は内心傷ついていたのかなと改めて考えてみて、そう思いました。
- ・情報やうわさに流されることや無意識に偏見を持ったり差別をしたりすることはありますが、今日のLHRで自分も迷信など少しは意識してしまっていたと今日始めて気づきました。
- ・私自身、血液型や相性占いで決めつけられることに対して嫌な気持ちを抱いていたことがあったので、今回のLHRはとても参考になりました。
- ・ペアでの話し合いは苦手ですが、頑張って話し合いました。お互いに共感できたし、みんなにも発表できたので良かったです。先生のプライベートな話や意見がたくさん聞けたのですごく面白かったです。

昼間部 4年生

- ・採用試験は、自分の能力ややる気でしっかり判断してほしいです。自分が仕事をするうえでプライベートなことなどは関係ないことだと思いました。
- ・面接の時にプライベートな内容や個人情報に関する質問をされたとき、自分自身も対応できる力を身につけることが必要だと思いました。
- ・今日のLHRで、「その質問には学校の指導によりお答えできません」ということで人権を守ることを学びました。あと少しで面接練習がはじまり、本番の面接もありますが、今回教わったことを活かしていきたいと思いました。

夜間部合同

- ・家族や親族に迷惑をかけないために名前を変えたり、行動を制限しなければならないのはとてもつらかったろうと思いました。どんな病気であるかも知らないで、偏見などで勝手に決めつけて、その問題に向き合わずにすべてを避けるという選択をしないようにしたい。
- ・かかることはしょうがない。かかった人を差別しない。コロナ、バイバイ。

どの学年にも共通しているところは、今回のホームルーム活動でクラスのメンバーと関わり合いながら、多くの気づきを得たことです。偏見や差別の問題に関しても、他人事としてではなく、自分との関わりを意識して取り組んでくれたように思います。その様子が感想にも表れています。人権が尊重される社会を築いていくために自分たちに何ができるか学び、そして考え続けてくれるとうれしいです。

(人権・同和教育担当：高木)

